

これからの日本で求められる仕事と能力とは
—これからの高校を考える—

開倫塾
塾長 林明夫

Q：これからの日本で求められる仕事とは何ですか。

A：政府の「日本成長戦略会議」は、次の 17 の仕事 日本の成長に欠かせないと、2026 年 1 月に発表しました。

- ① AI・半導体
- ② 造船
- ③ 量子
- ④ 合成生物学・バイオ
- ⑤ 航空・宇宙
- ⑥ デジタル・サイバーセキュリティ
- ⑦ コンテンツ
- ⑧ フードテック
- ⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX
- ⑩ 防災・国土強靱化
- ⑪ 創薬・先端医療
- ⑫ ヒュージョン・エネルギー
- ⑬ マテリアル(重要鉱物・部素材)
- ⑭ 港湾ロジスティクス
- ⑮ 防衛産業
- ⑯ 情報通信
- ⑰ 海洋

Q：日本が目指す姿は何ですか。

A：持続可能な経済成長・発展の実現に向け、成長を支える人材が、育成・確保され、活躍する社会です(この中には、当然、シニア・女性・障がい者・外国人材も含まれます)。

- ① 経済力の基盤となるのは人材力
 - ② 不確実で、非連続な変化が起こりうる未来に対応できる人材の育成が重要
 - ③ 「人への投資の好循環」の創出が不可欠
- 「経済成長・果実」→「人への投資」→「人材育成」→「成長分野での活躍」

Q：17の成長分野に共通する人材育成の課題は何ですか。

A：①各産業を支える理工・デジタル、現場人材の不足
②高度化する技術や新しい知識・技能への対応
③新しい価値を生み出すイノベーション人材、技術とビジネスをつなぐ人材、専門知識だけでなく、経営判断力も併せ持つ人材の確保 ○特に、「イノベーション」を興(おこ)することができる人材や、「現場」を支える人材○「成長力＝労働量×人材力」
○「問題設定力」→「現場対応力」→「分離融合」→「新たな価値を生み出す力」→「世界で戦う力」→「構想力」→「キャリアオーナーシップ」→「社会実装力」

Q：2040年に向け、これからの高校はどうなりますか。

A：(1)学びの在り方の転換

- ①リアルとデジタルの良さを組み合わせつつ、「好き」を育み、「得意」を伸ばす機会を確保し、生徒の実態を踏まえた柔軟な教育課程の実現
- ②スクールミッション、スクールポリシーを踏まえた教育活動

- ③高校教育と一貫した大学教育改革(主体的・自律的な学修)
- (2)最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化
- (3)学ぶ機会・アクセスの確保

Q：2040年に向けて、新しい高校はどのようなイメージですか。

A：(1)専門高校(工業高校や農業高校、商業高校など)の機能強化・高度化

- ①ビジネス経験の必修化
- ②モノづくりから流通まで一体的な学びの実践
- ③「高校版企業寄付講座」等の実践や、それを前提とした進学就職機会の確保
- アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成
- 人口が減っても、専門高校の定員は現在と同じ
- (2)普通科改革を通じた高校の特色化、魅力化
- ①実社会につながる生きた授業
- ②高度実験環境を核とする理数探求拠点の整備
- 文理の双方の素養を有する人材の育成
- 普通科高校の文系・理系の生徒の割合は同数とする
- (3)地理的アクセス・多様な学びの確保
- ①学校間連携、遠隔授業
- ②学校と、地域の関係機関の連携・協働の強化による学習環境の提供
- ③他の種類の学校との連携の充実
- 学校の枠を超えて多様な人々と協働
- 高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減
- (4)校内オープンラウンジを活用、放課後の「サードプレイス(居場所)」での学び促進
- (5)高専(高等専門学校)強化<いよいよ、高専の時代です>
- ①高専の「量的拡大」
- 公私立高専の新設促進(都立高専、県立高専、私立高専の新設を促進)、
- 高専教育の領域拡大(農業、コンテンツ)
- 学生の多様性確保(女性)
- 高専志願者増に向けた対応
- 少子化傾向においても高専学生数を増加させる
- ②高専教育の質的向上
- ③高専卒業者の「国際通用性確保」
- 高専生の海外留学の促進

Q:まとめていうとどういうことですか。

A:(1)<これからの日本、これからの世界の変化は>

- ①生成 AI 等の技術革新の急速な進展
- ②予測を上回る人口減少・少子高齢化の進行
- ③社会経済構造の激しい変容
- ④我が国社会の多様化
- ⑤国際情勢の著しい不安定化
- (2)これからの我が国を担う子供たちは、このような激しい変化がとどまることのない時代を生きることになります。AI 時代を迎えるにあたって、主体的・自律的に生きる力を、自己責任・自助努力で身に付けてまいりましょう。
- (3)高校生になっても大切にしていきたいのは、
- ①「自覚をもって学ぶこと」
- ②「効果の上がる学習方法(学習の3段階理論)を身に着けること」
- ③「長時間自己学習能力を身に着けること」
- ④「辞書・新聞・読書・図書館に慣れ親しみ、読解力を身に着けること」
- ⑤「積小為大」「小さいことを積み重ね、大きな志(高い志)を成し遂げること」